



CellSource

2020年10月期第1四半期 決算説明資料

セルソース株式会社

2020年3月



決算ハイライト



決算の状況



トピックス



成長戦略

前年同期比で増収増益を達成(売上高+13%、営業利益+64%、純利益+56%)

(百万円)	2019/10期1Q(前期) (2018年11月-2019年1月)	2020/10期1Q(当期) (2019年11月-2020年1月)	前年同期比
売上高	393	444	+51 (+13%)
売上総利益	290	316	+26 (+9%)
販管費	214	192	-21 (-10%)
営業利益	76	124	+48 (+64%)
四半期純利益	49	77	+27 (+56%)

業績予想に対して営業利益、経常利益、当期純利益の進捗率はいずれも30%を超過

(百万円)	2020/10期(予想) (2019年11月-2020年10月)	2020/10期1Q(実績) (2019年11月-2020年1月)	進捗率
売上高	1,972	444	23%
営業利益	365	124	34%
経常利益	365	123	34%
当期純利益	234	77	33%

脂肪由来幹細胞加工受託件数、血液由来加工受託件数、提携医療機関数すべてにおいて大きく増加。売上高営業利益率上昇

	2019/10期1Q(前期) (2018年11月-2019年1月)	2020/10期1Q(当期) (2019年11月-2020年1月)	前年同期比
売上高営業利益率(%)	19.4	28.0	+8.6
脂肪由来幹細胞 加工受託件数(件)	149	247	+98
血液由来加工受託件数(件)	716	1,675	+959
期末提携医療機関数(院)	161	345	+184



決算ハイライト



決算の状況

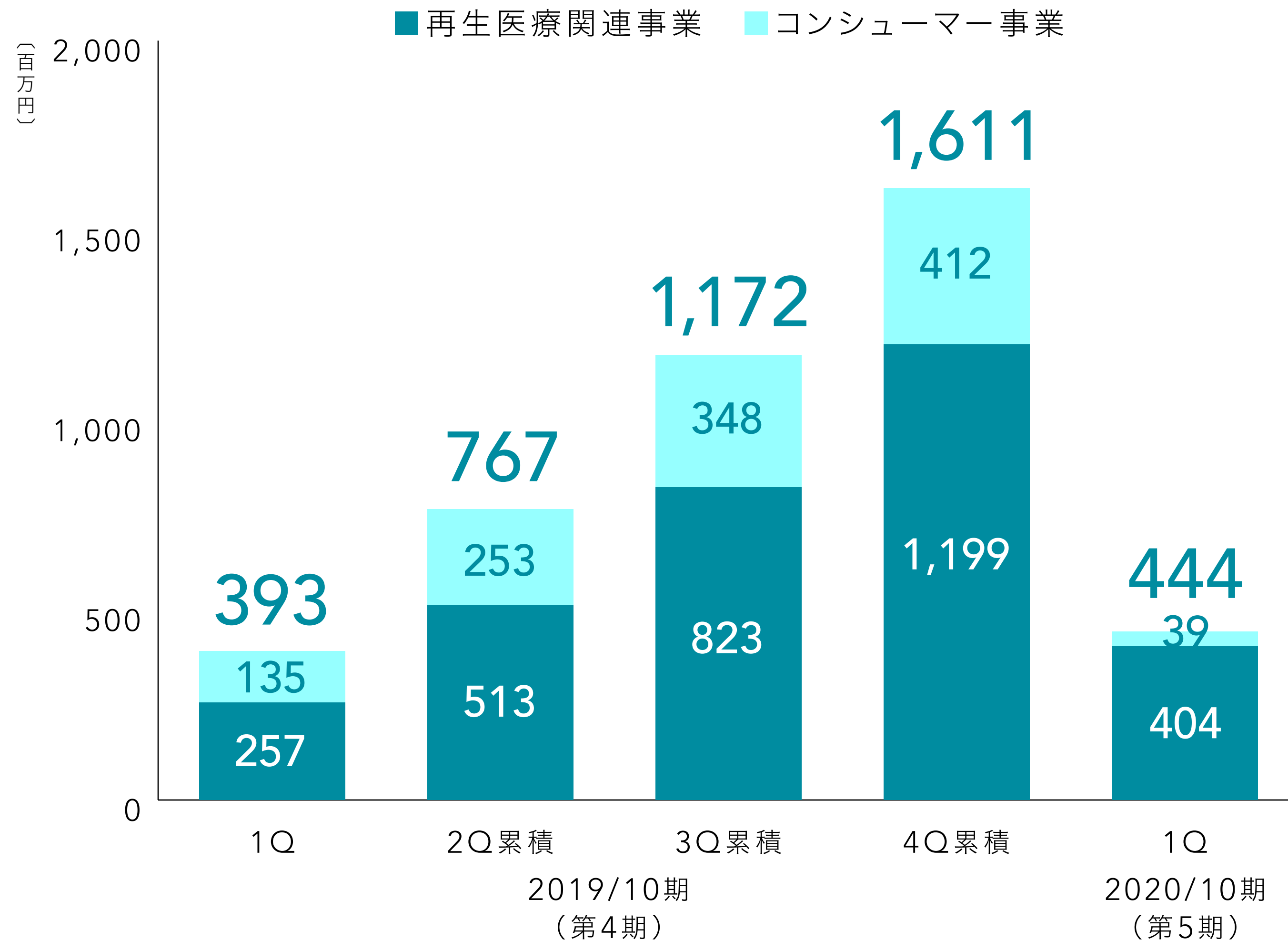


トピックス



成長戦略

再生医療関連事業は順調に増加し売上高は四半期ベース過去最高。新プロモーション開始したコンシューマー事業は第2四半期以降の収益拡大を見込む

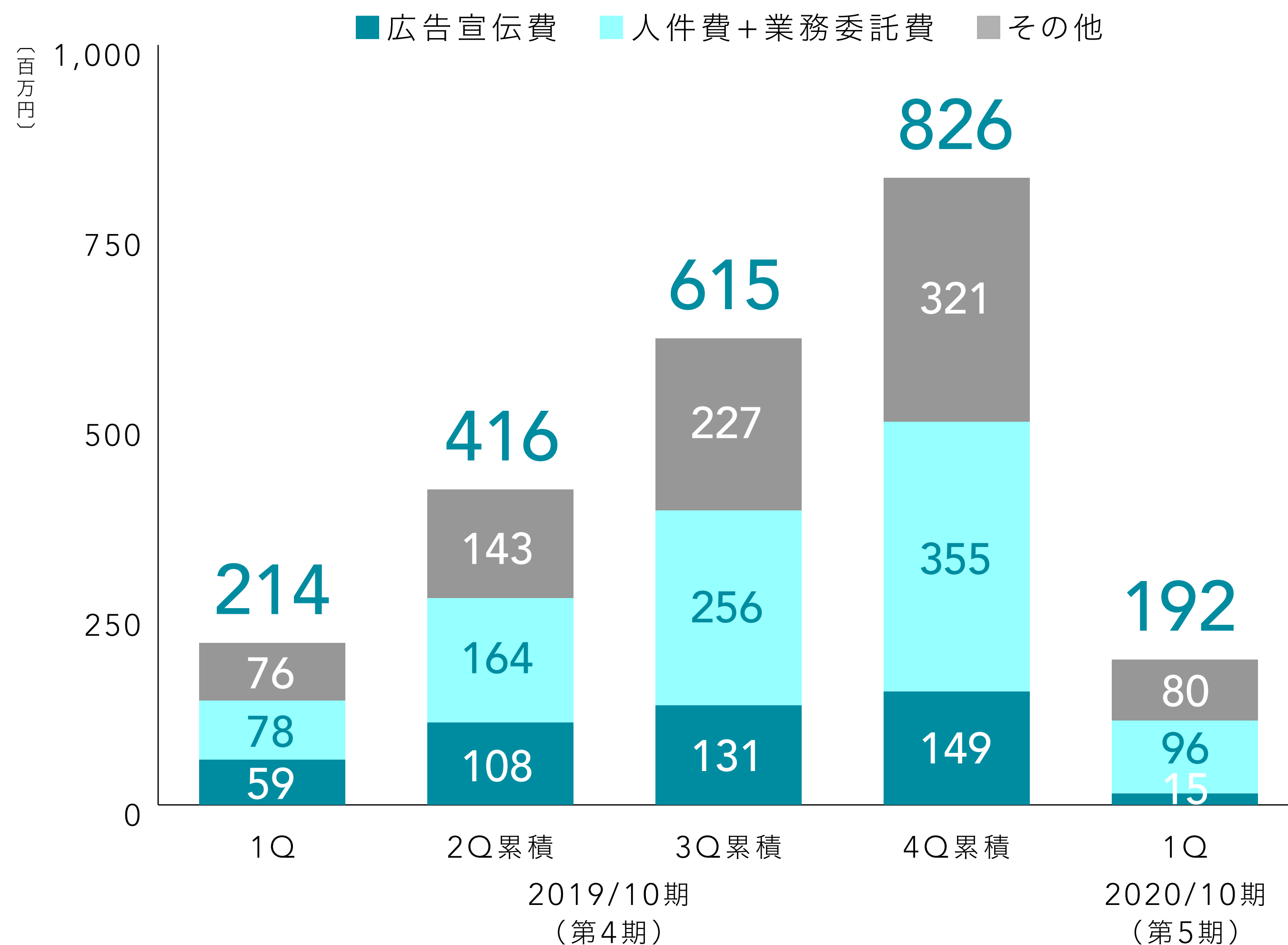


過去最高 **444** 百万円
 (前年同期比) **+51** 百万円

再生医療関連事業 (前年同期比)
404 百万円 **+145** 百万円

コンシューマー事業 (前年同期比)
39 百万円 ▲ **95** 百万円

事業拡大により人件費増加も、コンシューマー販売戦略変更に伴い広告宣伝費抑制し販管費減少



192 百万円

(前年同期比) ▲21 百万円

広告宣伝費 (前年同期比)

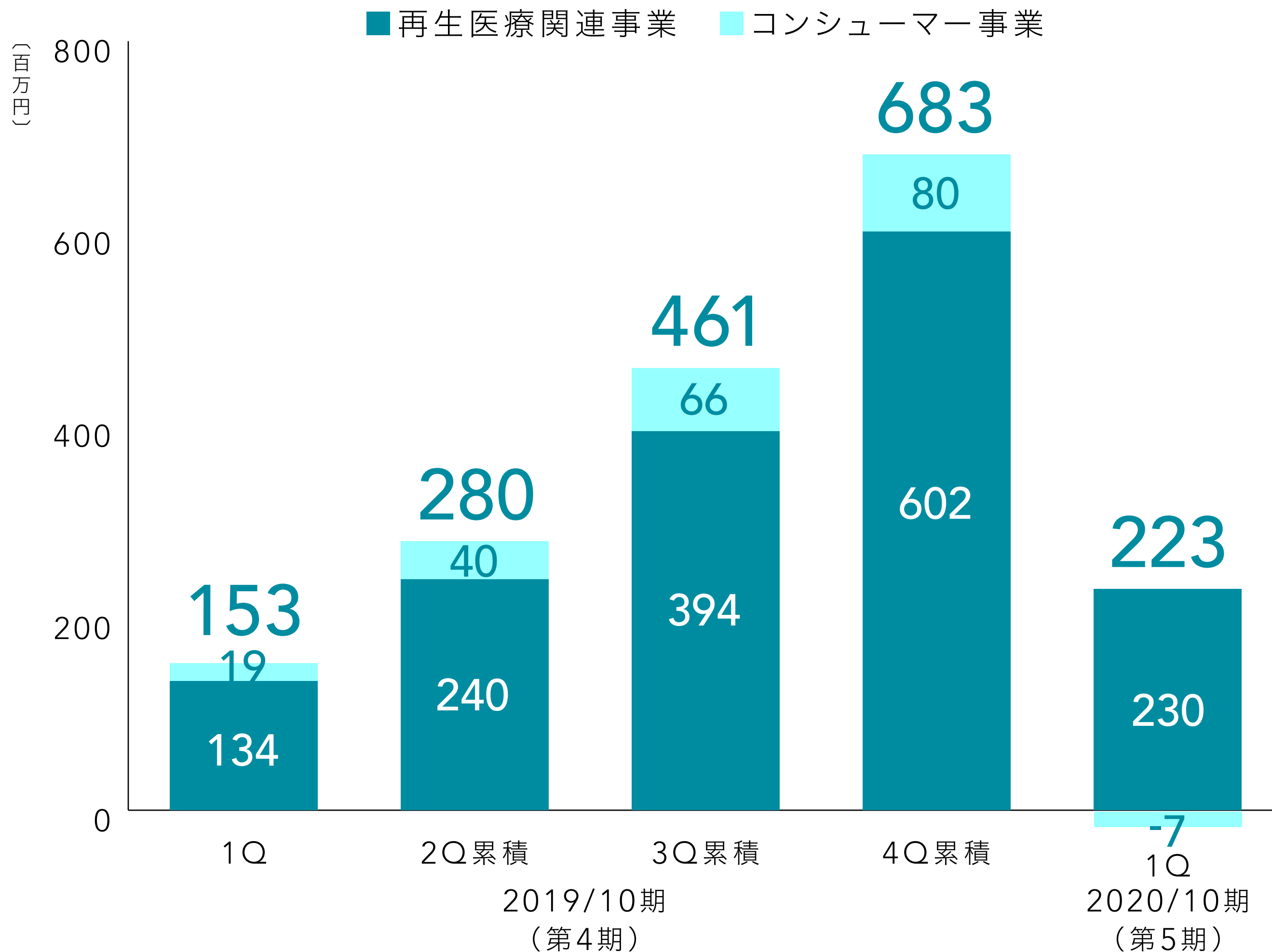
15 百万円 ▲44 百万円

人件費+業務委託費 (前年同期比)

96 百万円 +18 百万円

セグメント利益（全社費用を除く）

好調な再生医療事業がコンシューマー事業をカバーし、両セグメント合計営業利益は四半期ベースで過去最高を達成



過去最高 **223** 百万円

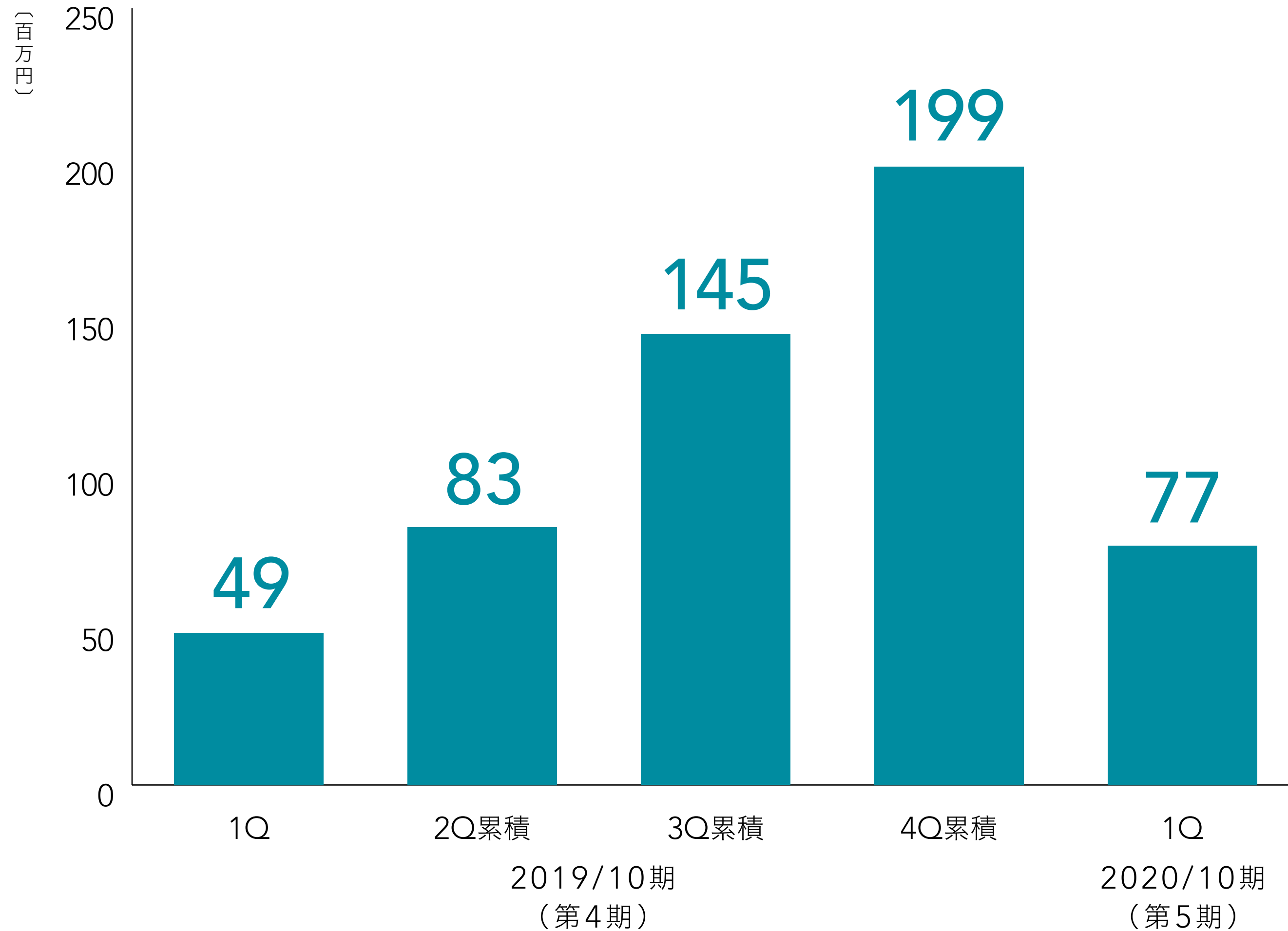
※ 報告セグメントに含まれない全社費用98百万円調整後の営業利益は124百万円です。

(前年同期比) **+69** 百万円

再生医療関連事業 (前年同期比) **230** 百万円 **+96** 百万円

コンシューマー事業 (前年同期比) **▲7** 百万円 **▲26** 百万円

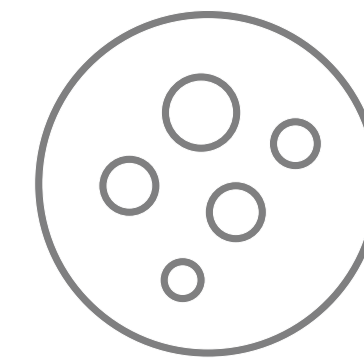
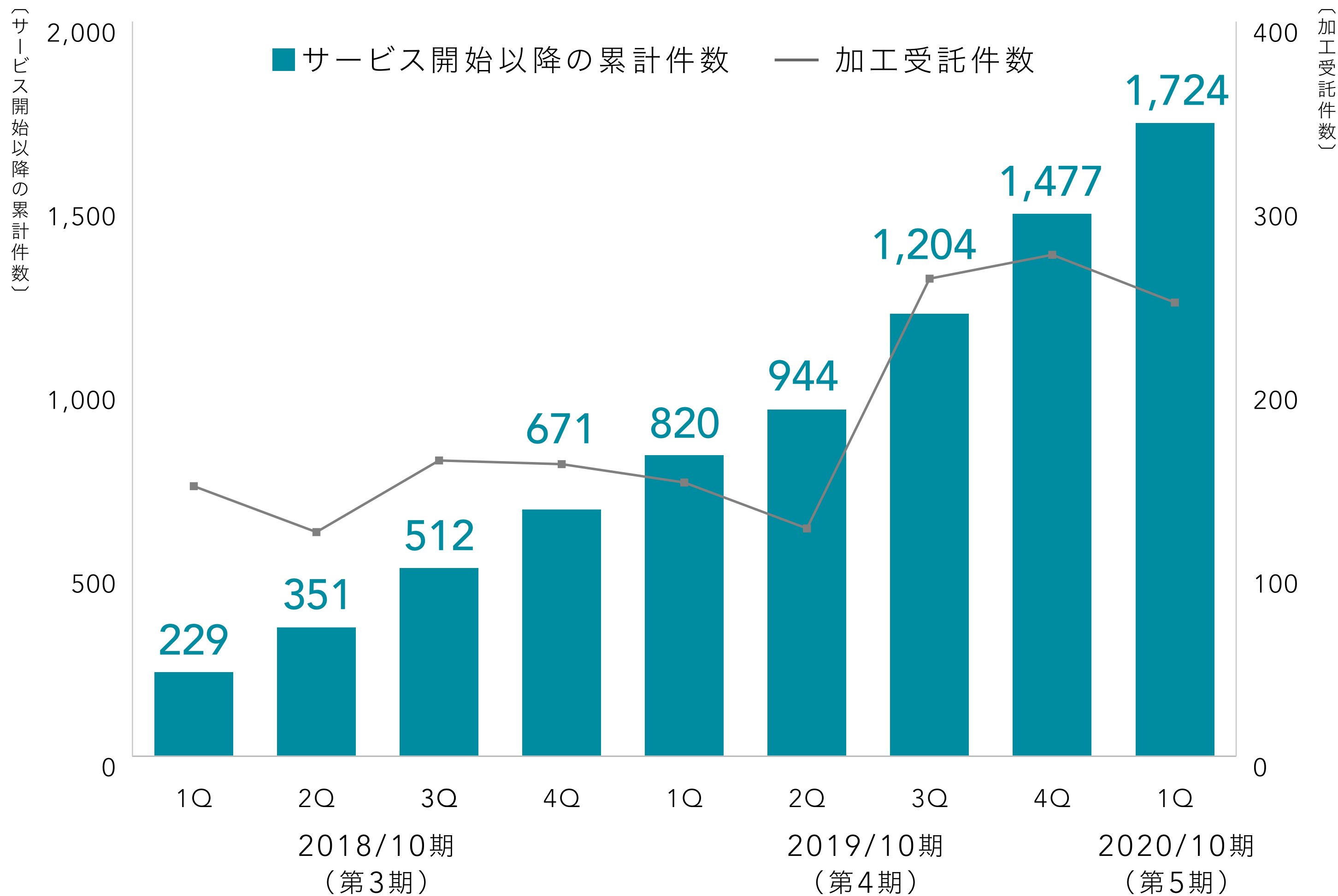
創業以来増益継続。当第1四半期も前年同期比+56%。四半期ベースで過去最高を達成



過去最高 **77** 百万円
(前年同期比) **+27** 百万円

脂肪由来加工受託件数は着実に増加

脂肪由来幹細胞加工受託件数(ASC)



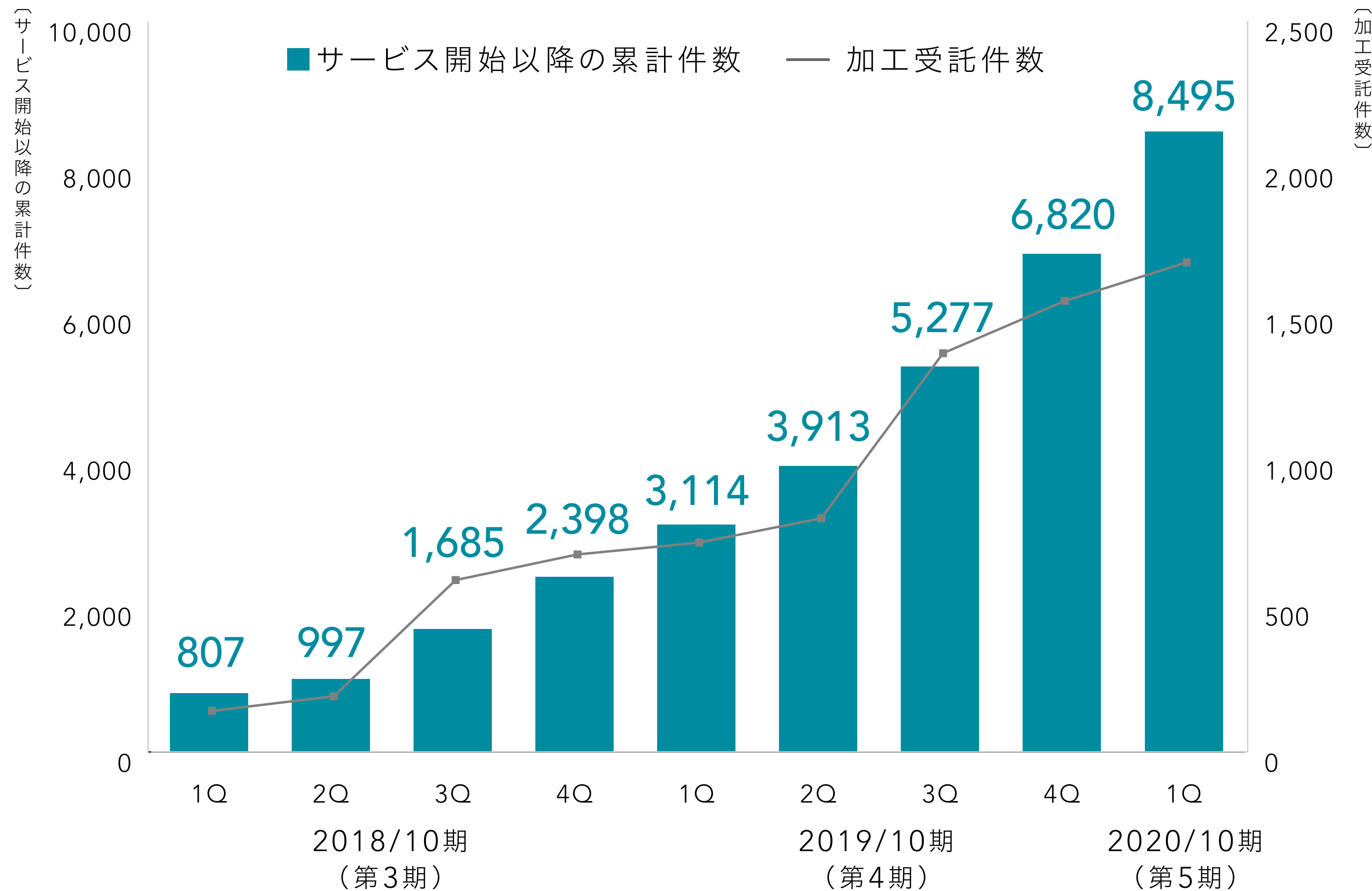
累計

1,724 件

当期1Q 247 件

四半期ベースでは、2018年10月期第2四半期以降8四半期連続で過去最高を更新

血液由来加工受託件数（PFC-FD）



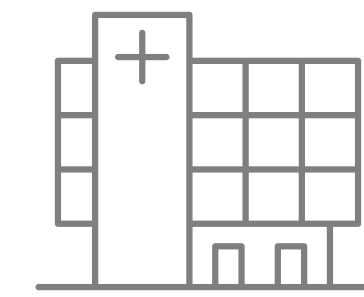
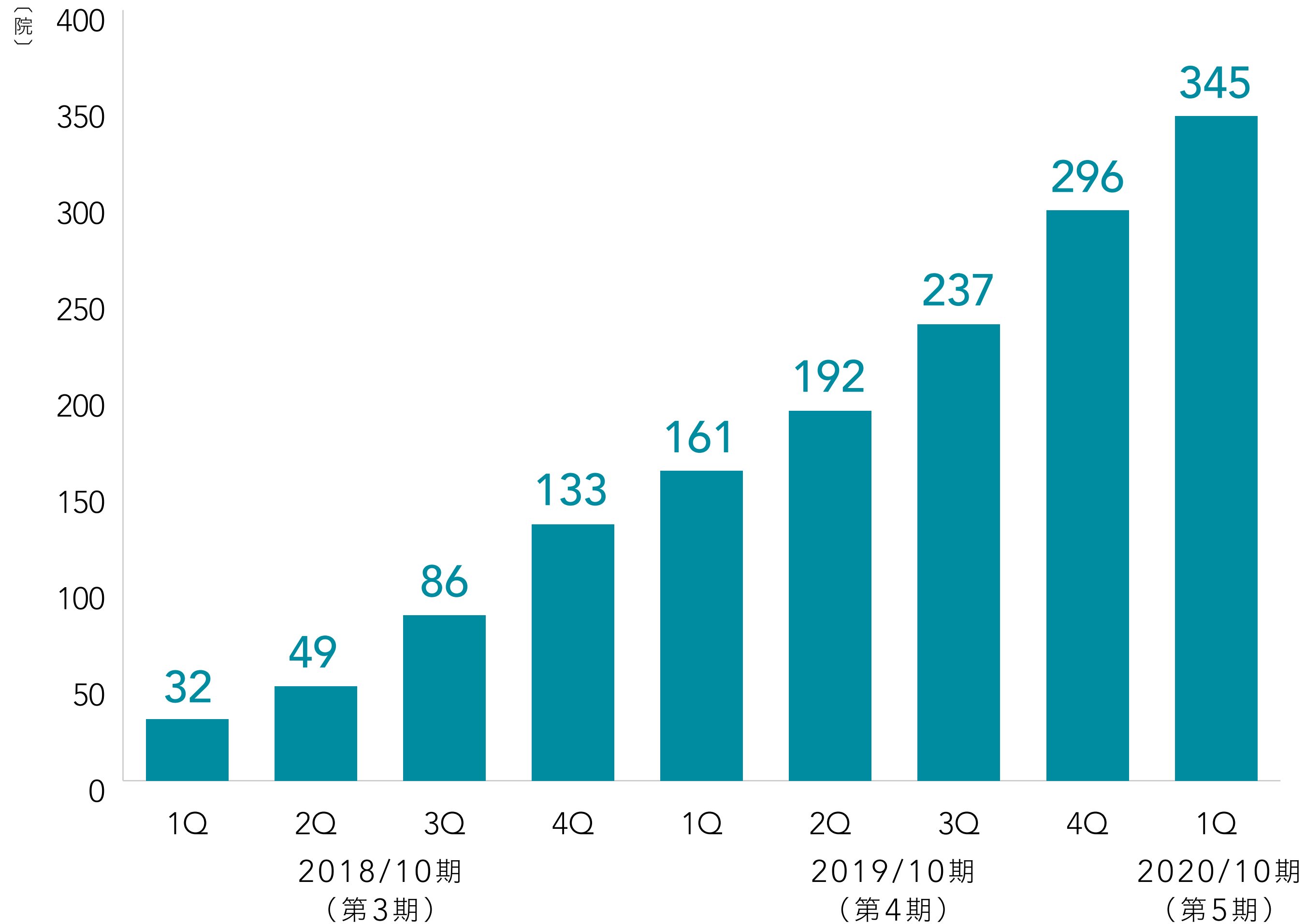
累計

8,495件

当期1Q 過去最高 1,675件

提携医療機関数は順調に増加。国内整形医療機関数の2%に満たず更なる増加余地

提携医療機関数



345 院

当期1Q 49院契約



決算ハイライト



決算の状況

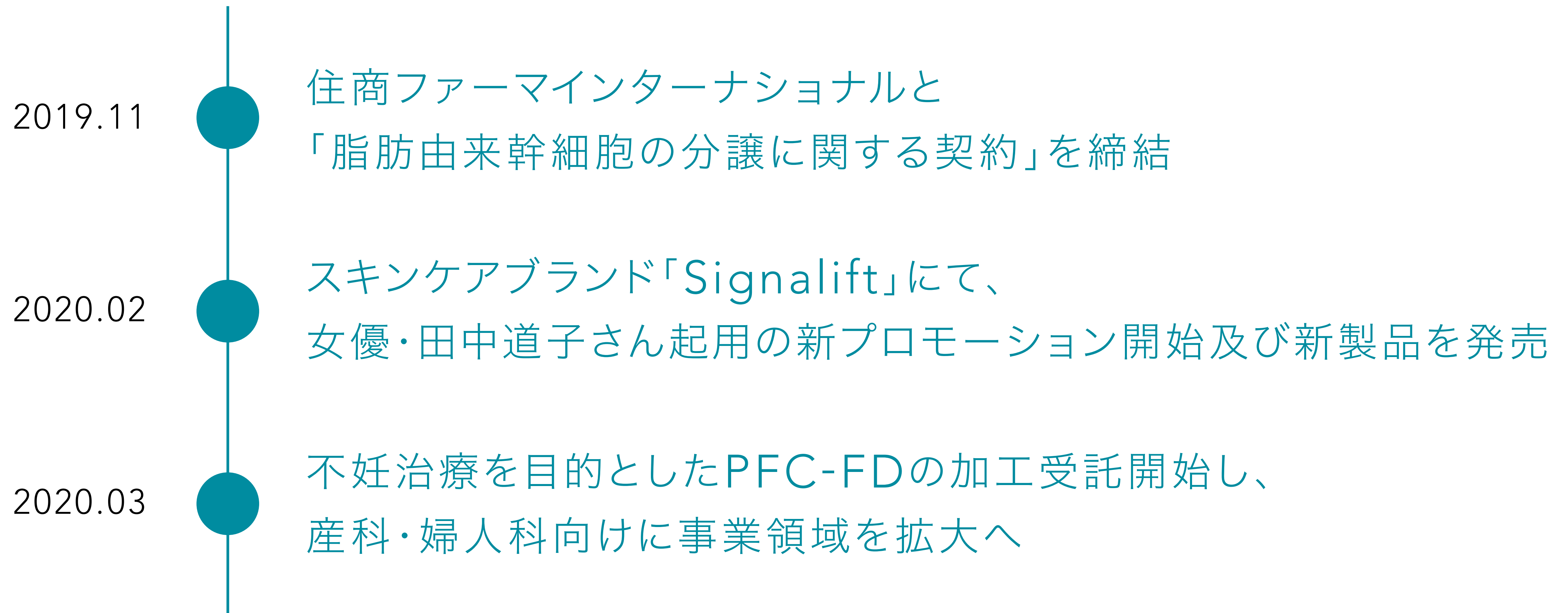


トピックス



成長戦略

提携医療機関数は急増。しかし国内の整形領域の医療機関数の2%にも満たず、今後も更なる増加が見込まれる。



住商ファーマインターナショナルと脂肪組織由来幹細胞の分譲契約を締結し研究用途での提供を開始



CellSource

ヒト脂肪組織
由来間葉系幹細胞
(培養・加工)

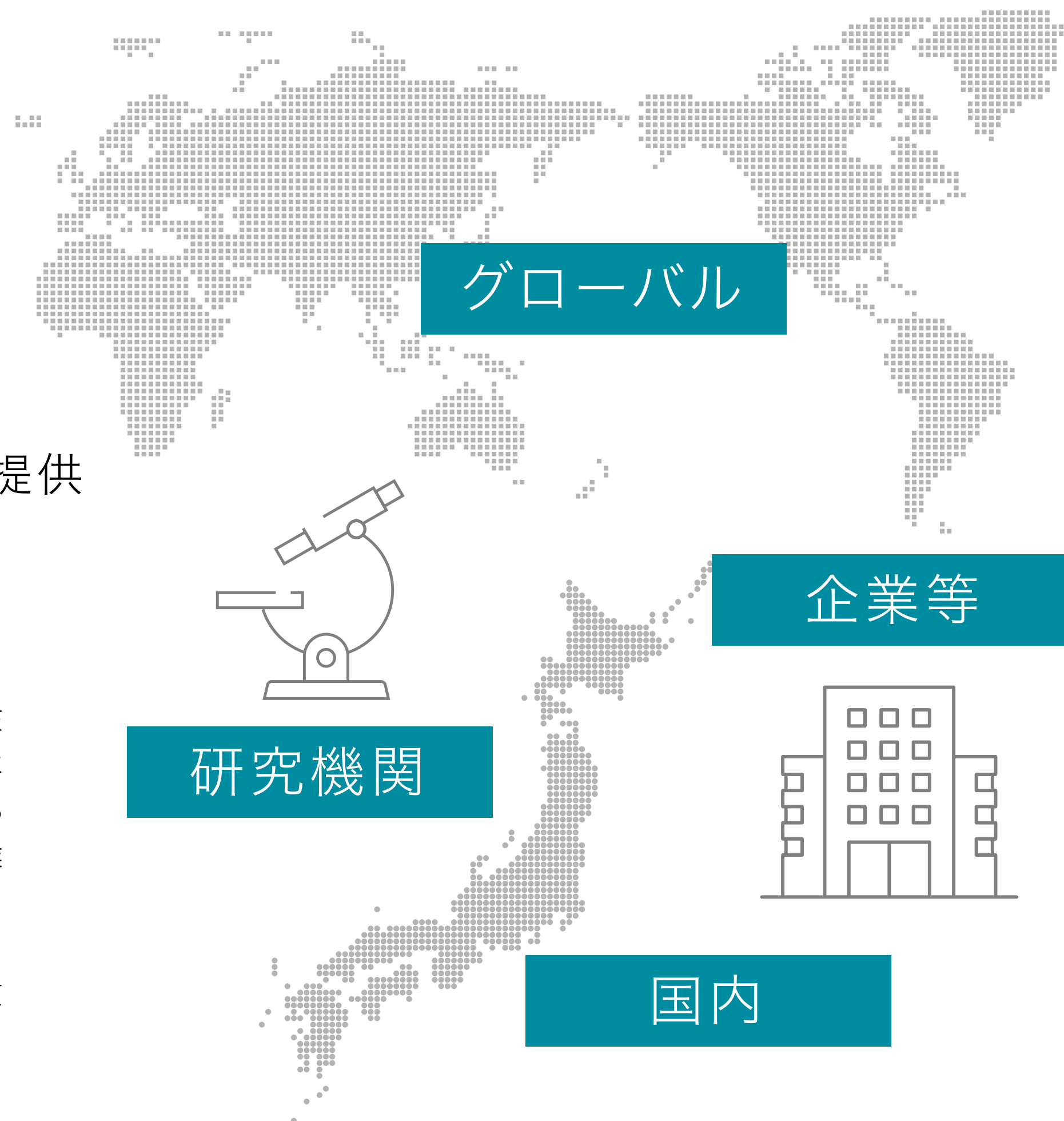
▶
分譲



▶
研究用に提供

【住商ファーマインターナショナル株式会社】

住友商事株式会社の100%子会社で、住友商事グループの中核事業会社として、グローバルベースのネットワークを駆使し、創薬に関する研究機器や世界最大の研究用遺伝子・細胞バンクである米国ATCC等の生物資源の提供、国内外ベンチャー、製薬企業などの有望な医薬品(候補化合物)・基盤技術等のライセンス・共同研究の斡旋・仲介サービスの提供に始まり、医薬品原料・中間体・副資材の供給まで、医薬・医療・創薬分野において一貫した質の高い商品・サービスを提供しています。



スキンケアブランド「Signalift」にて、女優・田中道子さん起用の新プロモーション開始及び新製品を発売

女優・田中道子さんを新プロモーションに起用



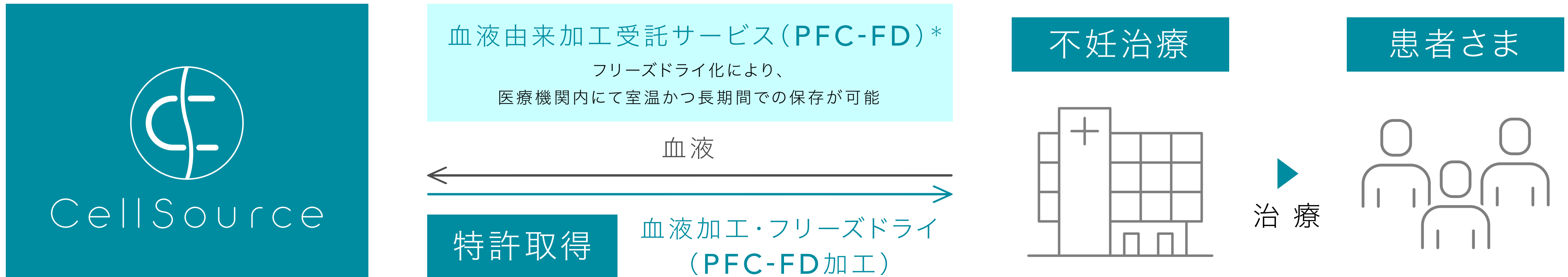
本年1月より放映のテレビドラマのメインキャストに抜擢されるなど、目覚ましい活躍を遂げる気鋭の女優・田中道子さん(オスカープロモーション所属)を新プロモーションに起用しました。

新製品「シグナリフト7日間トライアルセット」発売



Signaliftシリーズをお試しいただけるトライアルセットの発売を開始しました。

女性の患者さまを対象とした不妊治療に用いられるPFC-FDの加工受託サービスを開始



産科・婦人科では、女性の患者さまの子宮内に、患者さま自身の血液から作製したPRPを注入することで子宮内膜を厚くし、受精卵を着床しやすくすることを目指す療法が実施されています。当社が加工を受託するPFC-FDは、患者さま自身の血液からPRPを作製したのち、さらに成長因子を濃縮したものです。このため、PFC-FDを用いた治療はPRP療法と同等の効果が期待できます。

* PFC-FDはフリーズドライ加工によってパウダー状に調製されているため、医療機関さまの施設内において室温での長期保存が可能です。なお、PFC-FDの調製方法は当社にて特許を取得しています。



決算ハイライト



決算の状況



トピックス



成長戦略

様々な大学・行政機関と提携し、事業に取り組む

大阪大学

細胞分泌物を濃縮させた因子による変形性関節症治療法の開発
「エクソソーム」を含む細胞分泌物を用いる
変形性関節症への治療法確立に向けた共同研究を実施。

横浜市立大学

大学附属病院初の脂肪由来培養幹細胞を用いた再生医療による乳房再建
横浜市立大学附属市民総合医療センターにて、乳がん治療等による乳房切除後の
再建を目的とし、当社で培養・加工を受託した脂肪由来幹細胞を用いた再生医療を開始。

大阪府

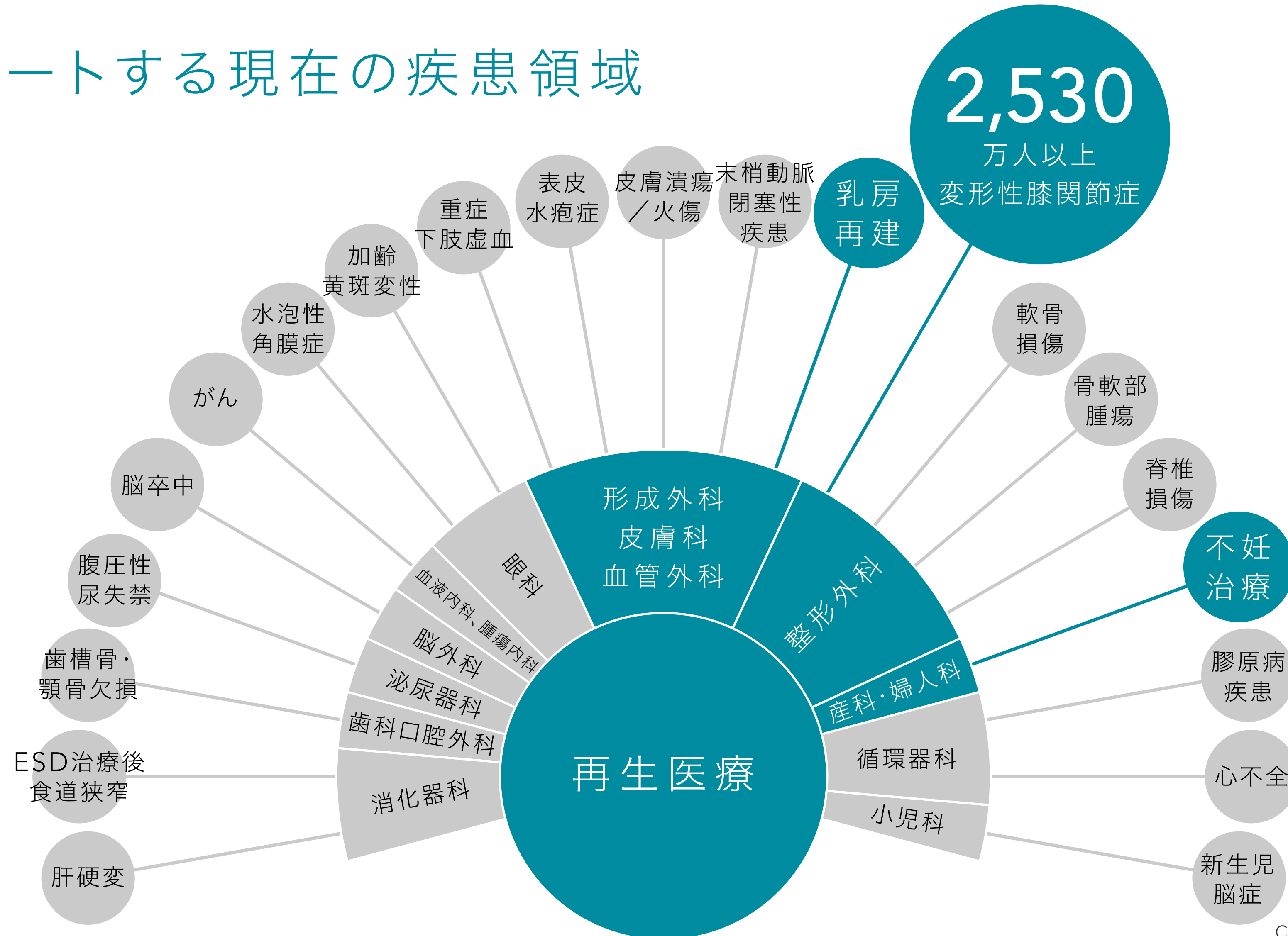
「未来医療推進機構」の設立者として参画
大阪府が目指す、再生医療をベースとした「未来医療国際拠点」全体をオーガナイズする
「未来医療推進機構」の設立者として参画。

沖縄県

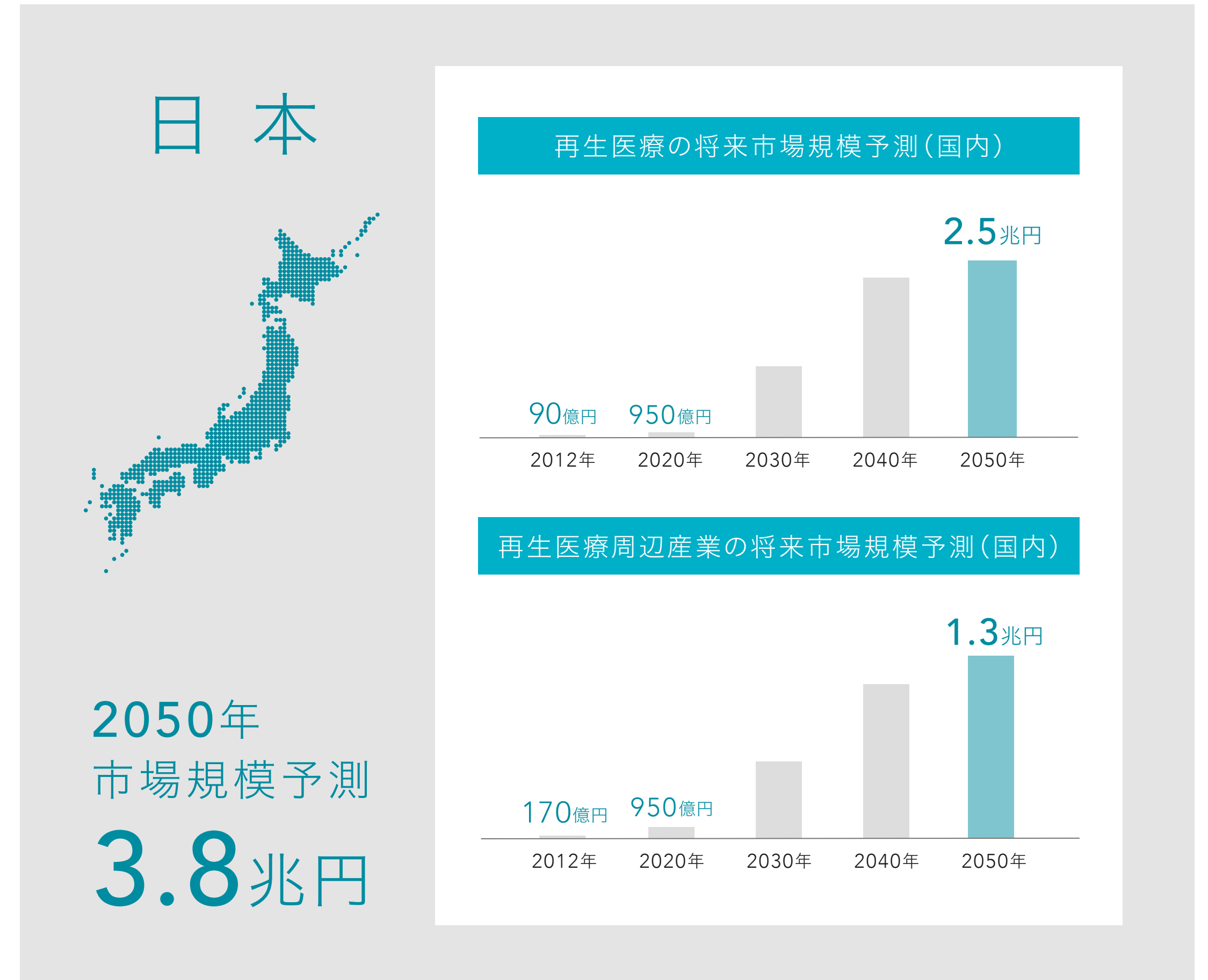
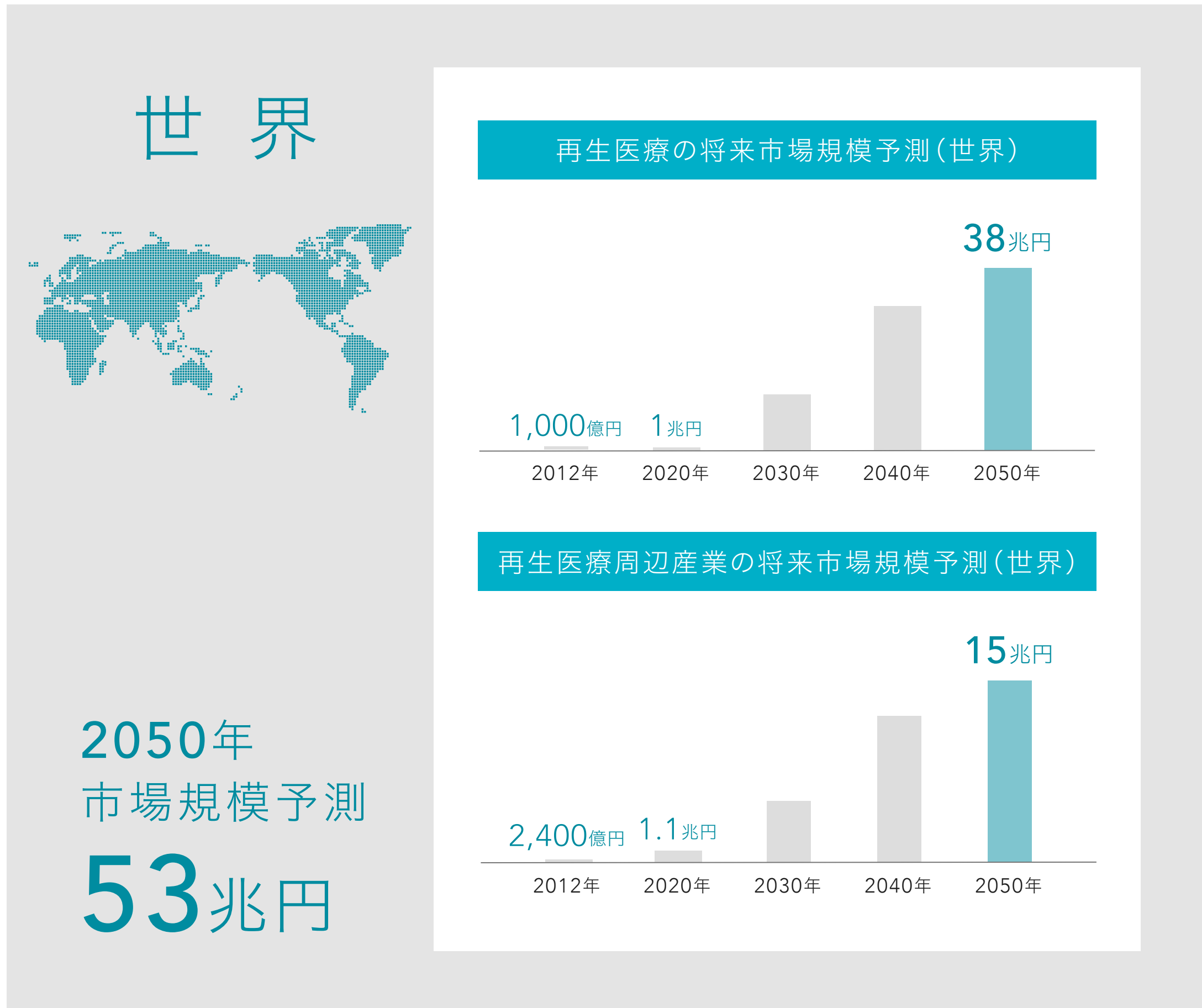
再生医療産業活性化推進事業の受託
琉球大学等とともに、再生医療等製品の開発等を支援する基盤を
沖縄に構築することを目指す沖縄県事業を受託。

整形外科領域・形成外科領域に加え、今後、更なる対象領域の拡大が見込まれる

当社がサポートする現在の疾患領域

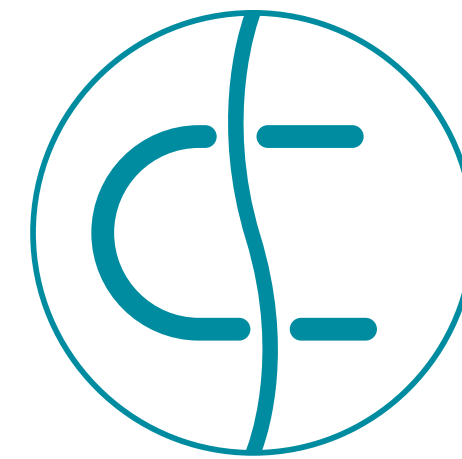


周辺産業を含め潜在的に大きな成長市場



出典：経済産業省 生物化学産業課 2015年8月「法施行を踏まえた 再生医療の産業化に向けた取組」

日本は再生医療関連法基盤の先進国。当社の事業モデルはグローバル展開が可能



CellSource

市場に先行参入した強みを生かし、
グローバル市場への進出も視野に入れ事業を推進してまいります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



CellSource